

平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 大  
 コード番号 3776 URL http://www.bbtower.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 藤原 洋  
 CEO

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 法務・経理統括 (氏名) 中川 美恵子 (TEL) 03-5202-4800

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 平成25年3月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	11,211	41.8	543	73.3	416	36.6	175	50.3
24年6月期第2四半期	7,909	5.6	313	△21.7	304	△21.8	116	△54.5

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 235百万円(54.8%) 24年6月期第2四半期 152百万円(△49.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	2,023.51	2,022.49
24年6月期第2四半期	1,348.10	1,344.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	12,403	5,629	42.2
24年6月期	8,275	5,429	61.6

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 5,234百万円 24年6月期 5,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期		0.00		500.00	500.00
25年6月期		250.00			
25年6月期(予想)				500.00	750.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日~平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	39.1	550	28.6	430	4.8	110	864.8	1,267.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期2Q	102,758株	24年6月期	102,758株
25年6月期2Q	15,960株	24年6月期	15,960株
25年6月期2Q	86,798株	24年6月期2Q	86,679株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景とした公共投資の増加などにより、緩やかながらも回復基調にありましたが、欧州の政府債務危機に伴う海外景気の下振れ懸念や、金融資本市場の変動等、景気を下押しするリスクが依然として存在しています。

一方で、金融緩和の更なる拡大への期待により、昨年(平成24年)11月中旬からは円高が一服し、株価も上昇傾向になるなど明るい兆しもあり、世界経済減速の中で国内経済は、不透明ながらも多少の回復が期待されます。

当社グループを取り巻く環境におきましては、平成23年3月の東日本大震災以降、システムやデータのバックアップ体制の強化に取り組む企業が目立つとともに、ビッグデータ市場の拡大に伴い、データセンター市場は引き続き伸長すると見込まれています。しかしながら、市場拡大を見込み、首都圏では大型データセンターの新設が相次ぐことで、供給過剰となる「2013年問題」が発生し、データセンターの提供価格が下落している状況下でもあります。また、BCP(Business Continuity Planning)対策、DR(Disaster Recovery)拠点として地方分散や海外移転等も進んでいます。

このような環境のもと、当社は、平成24年9月21日の新経営体制の発足をもって、第2創業期と位置付け、事業戦略の立案及びその実現のための重要課題の解決についての具体的検討・調査を行ってまいりました。当社グループの事業は、データセンター事業を中心とするコンピュータプラットフォーム事業、連結子会社である株式会社ビービーエフ(以下、ビービーエフ)及び株式会社ブランチ・アウトが行う、ファッション分野に特化したECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援事業、ファッションホールセールサービスを行うファッションビジネスプラットフォーム事業に分けて注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は11,211百万円(前年同四半期比41.8%増加)、営業利益は543百万円(前年同四半期比73.3%増加)、経常利益は416百万円(前年同四半期比36.6%増加)、四半期純利益は175百万円(前年同四半期比50.3%増加)となりました。

なお、平成24年8月28日付でビービーエフの完全子会社となった株式会社ブランチ・アウト・デザイン及び株式会社ブランチ・アウトは、業務の効率化を図るために、平成24年12月21日付をもって連結子会社間での吸収合併を行い、株式会社ブランチ・アウト(合併後の新商号、以下、ブランチ・アウト)となりました。

これに伴い、当第2四半期連結会計期間より、従来のEコマースプラットフォーム事業のなかに、ブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスが新たに加わったことにより、Eコマースプラットフォーム事業は「ファッションビジネスプラットフォーム事業」へ名称を変更しました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は以下のとおりであります。

コンピュータプラットフォーム事業では、スペースサービス及びプロダクトサービスの売上高が増加しました。

スペースサービスにおきましては、新規顧客を順調に獲得(ラック稼働率91%)するとともに、データセンター内の電気料金等の見直しに伴って、当社の売上高に影響しました。

なお、グローバル展開を検討・実施している企業のインフラ構築・運用ニーズに応えるべく、平成24年11月に米国ハワイ州でインターネットデータセンター事業を展開しているDR Fortress, LLCと、データセンター及びクラウドソリューション事業において戦略的提携契約を締結しました。本提携により、相互のスペースサービスの再販をはじめ、将来的にはクラウドサービス同士の接続、ジョイントベンチャーの創設なども視野に入れた活動を行っていきます。

プロダクトサービスにつきましては、様々なデータをビジネスに活用しようという「ビッグデータ」時代の到来に伴い、当社が取り扱う米EMC社製のスケールアウトNASストレージである「Isilonシリーズ」は堅調に推移しました。企業にとっては「Isilonシリーズ」を利用することで、爆発的に増加するビッグデータを効率よく蓄積し、これにより、企業活動に直結する新たな価値を見出すことが可能となります。

なお、当社のビッグデータに係る活動として、平成24年11月に京都大学との間で衛星情報ビッグデータ活用等に関する共同研究契約を締結しました。本共同研究による成果を目指し、膨大な衛星観測情報向けの大容量ストレージ「Isilonシリーズ」の拡販、Hadoop※と「Isilonシリーズ」を組合せたビッグデータ解析及びこれらを総合的に組み込んだ新ビッグデータ情報サービスを早期に開始します。

※Hadoop: オープンソースソフトウェアとして公開されており、Apache Software Foundation(ASF)が開発している、大規模データを効率的に分散処理・管理するためのソフトウェア基盤(ミドルウェア)。

以上の活動の結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は4,230百万円(前年同四半期比3.5%増加)、営業利益は178百万円(前年同四半期比4.5%増加)となりました。

ファッションビジネスプラットフォーム事業では、連結子会社であるビービーエフが行うECシステム構築支援・運用サービス及びTVショッピング支援事業、ブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスを主軸とした事業を展開しており、ファッション業界のバリューチェーンにおいて様々な機能を提供しています。

ECシステム構築支援・運用サービスにおきましては、ECシステムの企画・開発から、販売、在庫管理、流通機能までを一括して請け負っています。ファッションEC事業において必要となる様々な機能をワンストップで提供できるプラットフォームが評価された結果、前期以前に獲得した既存顧客の売上高は順調に伸長し、収益体制を着実に強化するとともに、新規顧客を順調に獲得でき、当第2四半期連結会計期間末現在において、サイト数は69サイトとなりました。

TVショッピング支援事業におきましては、ビービーエフが株式会社QVCジャパンを中心とするTV通信販売会社とファッションメーカーを繋ぐことで商品企画、在庫・生産管理から販売に至るプロセスを支援する事を可能とし、消費者に大きな反響をもたらしています。特に、紹介されたブランドにとっては、消費者の認知度が向上しています。

ファッションホールセールサービスにおきましては、大手小売店に対して婦人服や紳士服、子供服などの衣料品の販売・企画・デザイン・生産全般を行っています。ブランチ・アウトは顧客に喜ばれる良い提案をするために、単なる衣料品の商品企画・生産に留まらず、これまでのアパレルメーカーにはなかった画期的な販売促進企画を顧客と共に作り上げる手法が顧客に評価され、堅調に業績を伸ばしています。また、ブランチ・アウトがビービーエフの完全子会社になったことに伴い、企業信用力も更に向上しています。

以上の活動の結果、ファッションビジネスプラットフォーム事業の売上高は6,980百万円（前年同四半期比82.6%増加）、営業利益は363百万円（前年同四半期比154.0%増加）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,128百万円増加し、12,403百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,125百万円、受取手形及び売掛金の増加1,764百万円及び子会社の新規連結に伴うのれんの増加1,047百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,929百万円増加し、6,774百万円となりました。これは主に、買掛金の増加1,685百万円及び借入金の増加1,697百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ199百万円増加し、5,629百万円となりました。これは主に、四半期純利益175百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当43百万円及び少数株主持分の増加54百万円によるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して1,080百万円増加し、3,731百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、970百万円（前年同四半期比281.2%増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益408百万円、減価償却費169百万円及び仕入債務の増加額926百万円等の増加要因に対し、売上債権の増加額809百万円等の減少要因があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、697百万円（前年同四半期比94.6%増加）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入597百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,127百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は、807百万円（前年同四半期250百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,000百万円及び長期借入金の返済による支出1,147百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、設備償却等の見直しを見込んでいるため、現時点では平成24年8月22日公表の通期業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,650,618	3,776,131
受取手形及び売掛金	1,573,619	3,337,842
商品及び製品	306,932	492,167
繰延税金資産	58,788	80,275
その他	226,182	213,939
貸倒引当金	△2,363	△3,476
流動資産合計	4,813,778	7,896,880
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,037,327	973,319
機械及び装置(純額)	304,223	296,384
工具、器具及び備品(純額)	316,476	306,640
土地	—	1,078
リース資産(純額)	7,942	17,917
有形固定資産合計	1,665,969	1,595,341
無形固定資産		
のれん	—	1,047,754
その他	162,319	192,828
無形固定資産合計	162,319	1,240,582
投資その他の資産	1,633,115	1,670,599
固定資産合計	3,461,404	4,506,523
資産合計	8,275,182	12,403,403
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,366,273	3,052,098
1年内返済予定の長期借入金	405,000	602,500
未払法人税等	16,409	235,732
賞与引当金	29,641	58,900
返品調整引当金	—	2,702
その他	411,433	662,939
流動負債合計	2,228,758	4,614,872
固定負債		
長期借入金	—	1,500,000
資産除去債務	611,620	596,178
退職給付引当金	—	16,690
役員退職慰労引当金	—	33,333
その他	4,919	13,299
固定負債合計	616,540	2,159,501
負債合計	2,845,298	6,774,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,205	2,323,205
資本剰余金	2,306,493	2,306,493
利益剰余金	2,699,076	2,831,314
自己株式	△2,228,332	△2,228,332
株主資本合計	5,100,444	5,232,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,752	1,982
繰延ヘッジ損益	△1,380	△477
その他の包括利益累計額合計	△4,133	1,505
新株予約権	18,879	25,777
少数株主持分	314,692	369,065
純資産合計	5,429,883	5,629,030
負債純資産合計	8,275,182	12,403,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,909,153	11,211,766
売上原価	6,852,078	9,359,318
売上総利益	1,057,074	1,852,447
販売費及び一般管理費	743,523	1,309,072
営業利益	313,551	543,374
営業外収益		
受取利息	399	1,155
受取配当金	—	69
為替差益	3,582	—
業務受託手数料	1,248	1,247
還付加算金	—	2,003
その他	304	1,713
営業外収益合計	5,534	6,189
営業外費用		
支払利息	8,069	22,094
出資金評価損	4,668	2,318
支払手数料	—	92,500
その他	1,510	16,237
営業外費用合計	14,248	133,151
経常利益	304,838	416,413
特別利益		
合意解約金	20,000	—
特別利益合計	20,000	—
特別損失		
固定資産除却損	2,542	7,849
賃貸借契約解約損	2,969	—
特別損失合計	5,512	7,849
税金等調整前四半期純利益	319,325	408,563
法人税、住民税及び事業税	84,898	155,017
法人税等調整額	82,247	23,699
法人税等合計	167,146	178,717
少数株主損益調整前四半期純利益	152,178	229,846
少数株主利益	35,326	54,209
四半期純利益	116,852	175,637

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152,178	229,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,773	4,735
繰延ヘッジ損益	1,686	903
その他の包括利益合計	△87	5,638
四半期包括利益	152,091	235,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,764	181,112
少数株主に係る四半期包括利益	35,326	54,372

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	319,325	408,563
減価償却費	170,317	169,867
のれん償却額	4,766	53,954
株式報酬費用	3,523	6,897
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	228
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,688	△40,661
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	1,787
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	24,999
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	453
受取利息及び受取配当金	△399	△1,225
支払利息	8,069	22,094
出資金評価損	4,668	2,318
合意解約金	△20,000	—
固定資産除却損	2,542	7,849
賃貸借契約解約損	2,969	—
売上債権の増減額(△は増加)	△619,906	△809,474
たな卸資産の増減額(△は増加)	393	24,722
仕入債務の増減額(△は減少)	579,634	926,699
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,007	46,392
その他	367	91,087
小計	431,576	936,555
利息及び配当金の受取額	399	1,225
利息の支払額	△245	△18,890
法人税等の支払額	△177,111	△15,319
法人税等の還付額	—	67,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,619	970,601
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△15,000
定期預金の払戻による収入	—	597,767
有形固定資産の取得による支出	△76,392	△68,069
ソフトウェアの取得による支出	△64,934	△47,603
投資有価証券の取得による支出	△220,850	△25,214
敷金の回収による収入	5,229	—
差入保証金の差入による支出	△1,300	—
差入保証金の回収による収入	—	9,400
資産除去債務の履行による支出	—	△20,800
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,127,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△358,248	△697,113

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△202,500	△1,147,823
リース債務の返済による支出	△7,979	△2,837
株式の発行による収入	1,585	—
配当金の支払額	△41,942	△42,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250,836	807,026
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△354,464	1,080,513
現金及び現金同等物の期首残高	3,049,073	2,650,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,694,609	3,731,131

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータ プラットフォーム 事業	Eコマースプ ラットフォー ム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,086,743	3,822,409	7,909,153	—	7,909,153
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,756	2,650	9,406	△9,406	—
計	4,093,499	3,825,059	7,918,559	△9,406	7,909,153
セグメント利益	170,433	143,087	313,521	30	313,551

(注) 1 セグメント利益の調整額30千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータ プラットフォーム 事業	ファッションビ ジネスプラ ットフォー ム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,230,945	6,980,820	11,211,766	—	11,211,766
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,502	1,500	10,002	△10,002	—
計	4,239,448	6,982,320	11,221,768	△10,002	11,211,766
セグメント利益	178,129	363,462	541,592	1,781	543,374

(注) 1 セグメント利益の調整額1,781千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、平成24年8月22日付で株式会社ブランチ・アウト・デザインの全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社としたことにより、セグメント資産が3,674,940千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第2四半期連結会計期間より、株式会社ブランチ・アウトを連結子会社を含めたことにより、「Eコマースプラットフォーム事業」を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」に名称変更し、当該連結子会社を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」としております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、株式会社ブランチ・アウト・デザインの全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社といたしました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において1,047,754千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

###### ② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

###### ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	4,230,945	+3.5
ファッションビジネスプラットフォーム事業	6,980,820	+82.6
合計	11,211,766	+41.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

##### 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
ヤフー株式会社	2,350,392	29.7	2,260,005	20.2
株式会社QVCジャパン	2,145,908	27.1	2,377,367	21.2
株式会社しまむら	—	—	1,583,710	14.1

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

4 ファッションビジネスプラットフォーム事業において販売実績が著しく増加しておりますが、これは主に、株式会社ブランチ・アウトが連結子会社となったことによるものであります。